

平成27年度における温室効果ガス等の排出の削減に 配慮した契約の締結実績の概要

国立大学法人東京海洋大学

国等における温室効果ガス等の排出の削減に配慮した契約の推進に関する法律（平成19年法律第56号。以下「環境配慮契約法」という。）第8条第1項の規定に基づき、平成27年度における温室効果ガス等の排出の削減に配慮した契約の締結実績の概要を取りまとめたので、公表する。

1. 平成27年度の経緯

環境配慮契約法及び国及び独立行政法人等における温室効果ガス等の排出の削減に配慮した契約の推進に関する基本方針（平成26年2月4日変更閣議決定。以下「基本方針」という。）に基づき、可能なものから温室効果ガス等の排出の削減に配慮した契約（以下「環境配慮契約」という。）の締結に努めた。

2. 環境配慮契約の締結状況

基本方針で環境配慮契約の具体的な方法が定められている①電気の供給、②自動車の購入及び賃貸借、③船舶の調達、④省エネルギー改修事業(ESCO事業)、⑤建築物の建築又は大規模な改修に係る設計業務並びに⑥産業廃棄物の処理の環境配慮契約に関して、該当がなかった。

3. その他の環境配慮契約に係る事項

- 環境省主催の環境配慮契約法基本方針説明会に参加し情報を収集した。
- 環境物品等の調達の推進を図るための方針を策定し、これに基づいて環境物品等の調達を推進した。
- 船舶については、小型船舶において、エンジンのない電池推進船（実験船）を導入し、環境対策の一つとしての船の開発・実験にも取り組んでいる。
- 建築物の環境保全性能を向上させることに配慮した契約を推進することとし、以下のとおり実施した。
 - ・ 越中島キャンパス明治丸記念館新営その他工事において、高効率の空調機を採用し電力量の削減を実施すると共に、外壁面の内側に断熱材を吹付け、屋根面には外断熱工法を採用し、複層ガラスを使用して外壁からの熱の影響を減少させ空調機の負荷軽減を図った。また、照明器具をLED照明及び調光タイプにしたことで使用電力量の削減と省エネ化を推進した。なお、昇降機についてもインバーター制御方式の機種に更新する事で、制御効率の向上と省エネ化を実施している。
 - ・ 品川キャンパス中部講堂非構造部材耐震改修工事及び越中島キャンパス越中島会館講堂他非構造部材耐震改修工事において、照明器具をLED照明へ更新したことでさらなる使用電力量の削減と省エネ化を推進した。
- ボイラ運転に際しては、負荷に応じた台数制御や昼休みの停止及び外気温度の上昇時における停止など、CO2排出量の削減に努めた。